

地 図

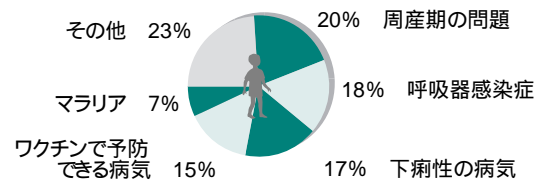
世界の乳幼児の生存、成長、発達に影響を与える要素を地図で示した。

地図

1 . 乳幼児期	60
2 . 女性の地位 = 子どもの地位	62
3 . 課題	64
地図についての注	66

乳幼児期

子どもの5大死因 5歳未満児の死因 (%, 1998年)



資料: WHO, 1999年。

子どもの死因の大部分は容易に防ぐことができるが、いまなお毎年1100万人の5歳未満児が死んでいる。

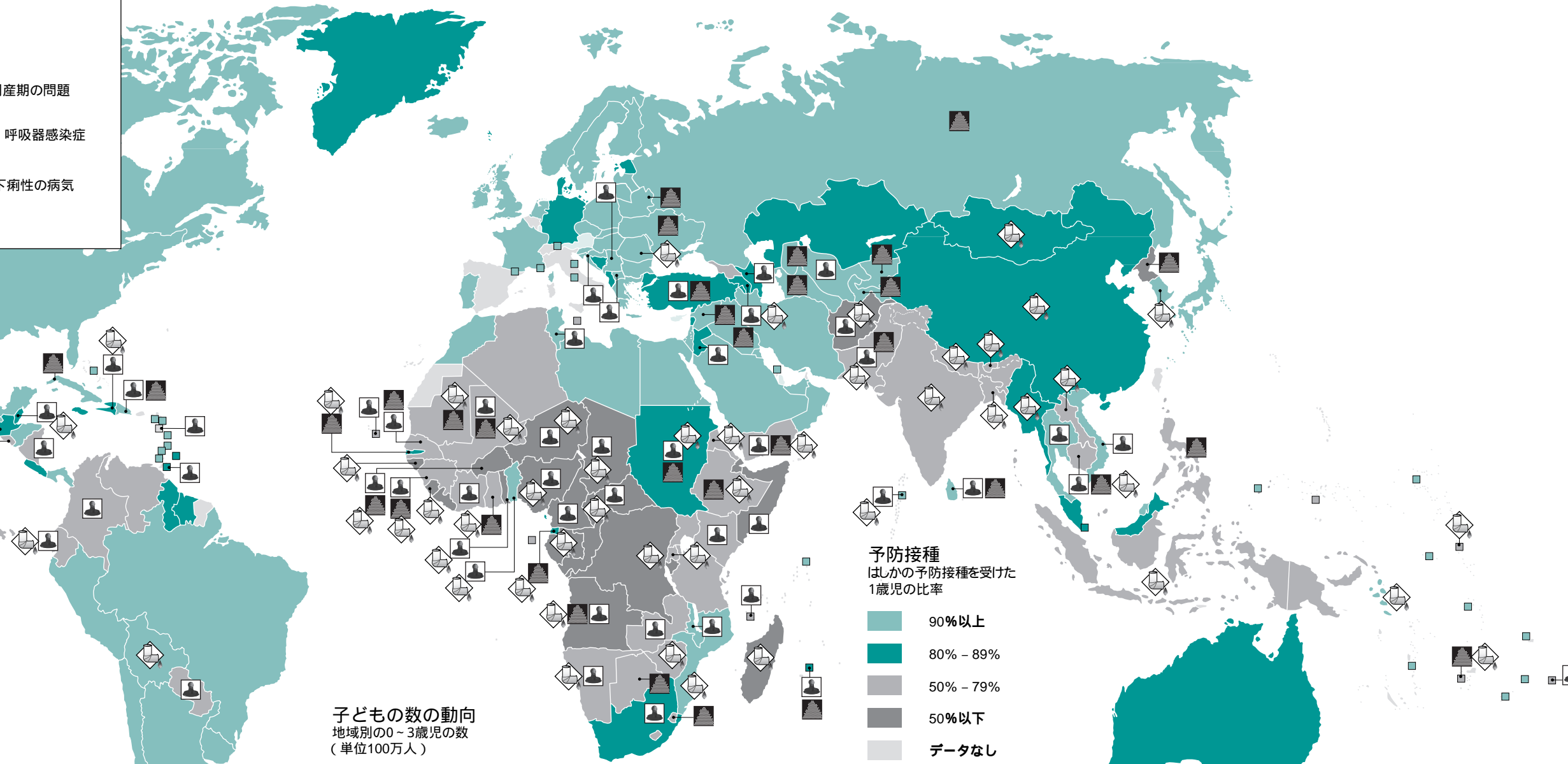
過去30年間に世界の15歳未満児の数がおよそ14億人から18億人に増えた。

母乳育児を推進し、人工栄養の使用を減らすことで、毎年、推定150万人の子どもの命を救うことができる。

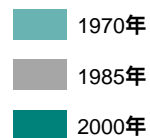
はしかによる死は世界の5歳未満児の死の7%以上を占め、その半分が1歳未満児である。

5歳未満児の死亡率や罹病率を引き下げるために適切な衛生環境が不可欠だが、いまなお24億人が適切な衛生施設を利用できない。

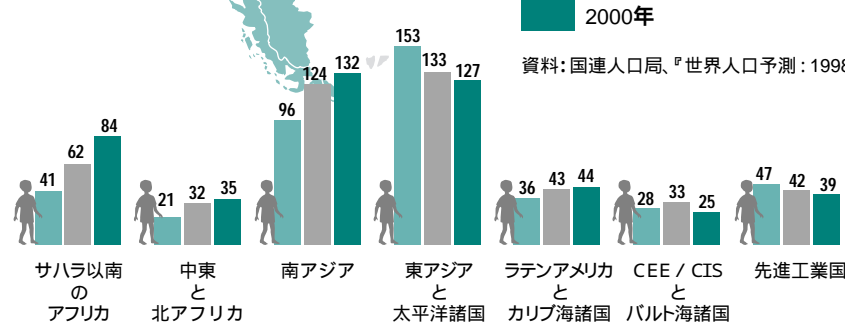
ヨード添加塩の使用が、予防可能な知的障害の主な原因となるヨウ素欠乏症と戦うための最善の方法になる。



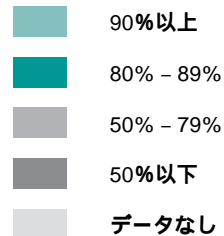
子どもの数の動向 地域別の0-3歳児の数 (単位100万人)



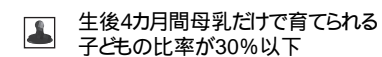
資料: 国連人口局、『世界人口予測: 1998年改訂版』。



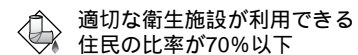
予防接種 はしかの予防接種を受けた 1歳児の比率



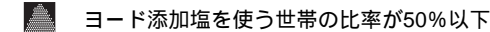
人工栄養



衛生施設の利用



ヨード添加塩の使用

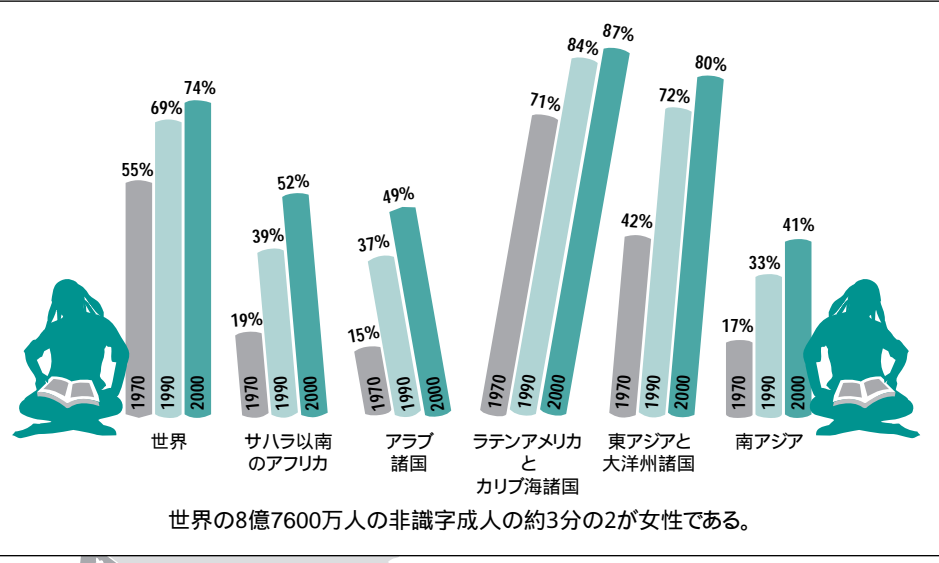


資料: 予防接種と衛生施設の利用はユニセフとWHO、人工栄養とヨード添加塩の使用率はユニセフ。

この地図は国や領土、国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではない。インドとパキスタンが同意したジャム・カシミールのおおよその統治ラインは点線で示した。両国はジャム・カシミールの最終的地位についてまだ合意していない。

女性の地位 = 子どもの地位

女性の識字の動向
女性の識字率
1970, 1990, 2000年
資料: ユネスコ、
『1999年統計年鑑』。



母親の教育
女性の識字率

- 90%以上
- 60%~89%
- 30%~59%
- 30%以下
- データなし

付添婦が付き添う出産

熟練した付添婦が付き添う
出産の比率が50%以下

女の子の栄養不良

5歳未満の女の子の25%以上が体重不足

資料: ユネスコ、ユニセフ。

女性の地位と子どもの地位は密接に関連している。

女性の識字率は女性のエンパワーメントと前進の度合いを示し、家族と子どもの保健、栄養、教育改善の鍵になる。

栄養不良の少女は栄養不良の母親になって体重不足の子どもを産むことが多い。

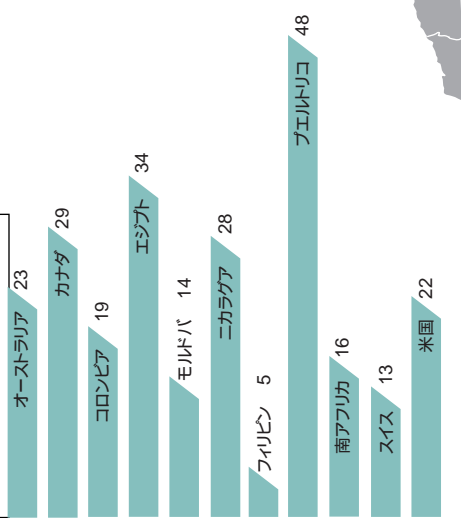
毎年約1500万人の15~19歳の少女が出産し、生まれる子どもの数は世界全体の出生数の10%以上を占める。この年齢の少女は妊娠から死ぬ危険が20歳以上の女性に比べて4倍も高い。

出産前と出産時の適切なケアが、妊産婦の死亡率や罹病率を引き下げるうえで大きな役割を果たす。

女性に対する暴力は実際には子どもに対する暴力と同じであることが多い。

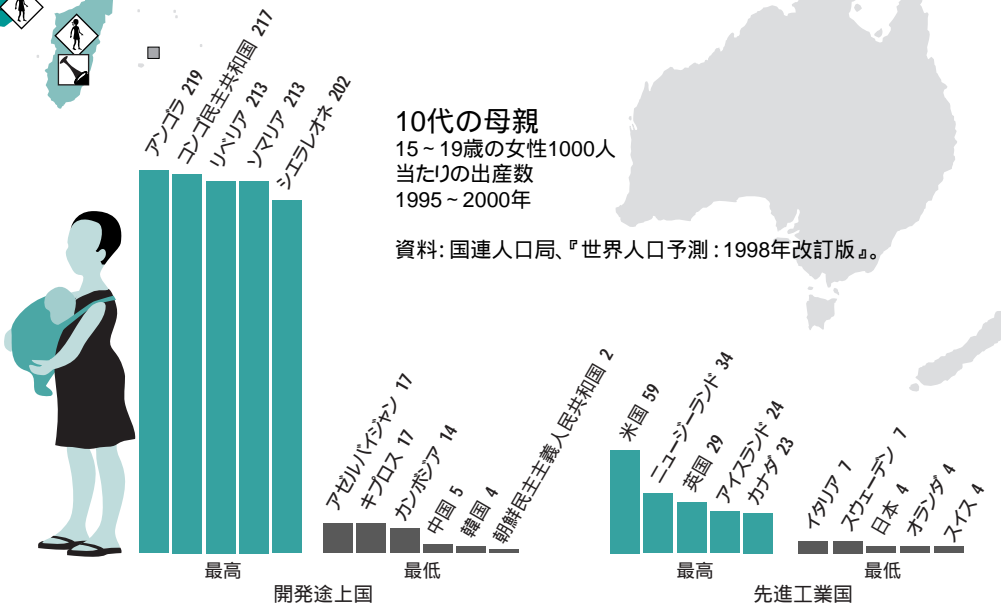
女性に対する暴力
何らかの関係にある親密なパートナーから身体的暴力を受けたことのある成人女性の比率(1991/1999年のデータ)

資料: 国連、『2000年世界の女性』の第6.3章、154ページから引用。これは女性に対する暴力に関するWHOのデータベース(2000年3月現在)を使ったもの。



10代の母親
15~19歳の女性1000人
当たりの出産数
1995~2000年

資料: 国連人口局、『世界人口予測: 1998年改訂版』。



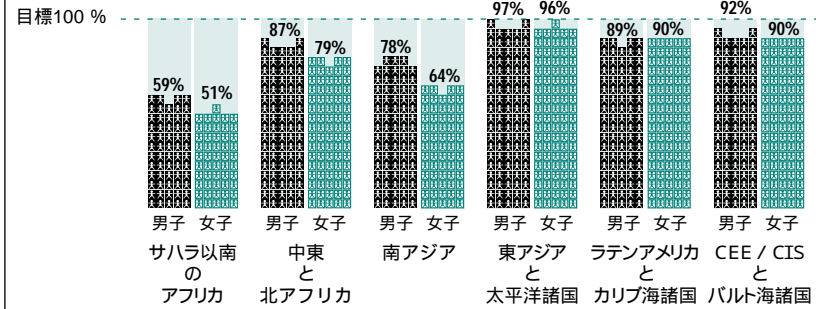
多くの開発途上国では女性の3分の1以上が10代で出産している。

この地図は国や領土、国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではない。インドとパキスタンが同意したジャム・カシミールのおおよその統治ラインは点線で示した。両国はジャム・カシミールの最終的地位についてまだ合意していない。

課題

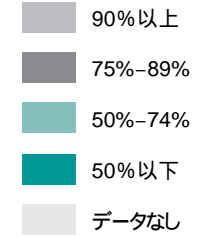
教育の遅れ

地域ごとの小学校純就学率 / 出席率
1990～1999年



資料：ユネスコ、ユニセフ。

就学率
小学校に就学または出席している子どもの比率



出生登録

子どもの出生登録率が50%未満

栄養不良

中度・重度の発育阻害の5歳未満児の比率が30%以上

資料：ユネスコ、ユニセフ。

世界の無数の子どもが毎日のように成長と発達を妨げる危険にさらされている。

開発途上国の小学校就学年齢の子ども20%以上が就学していない。

出生の3分の1が登録されていない。それらの子どもは基礎サービスや保健ケア、教育を受けられない恐れがある。

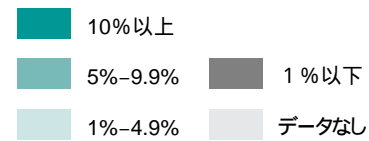
妊婦の栄養不良が推定1億7700万人の子ども発育阻害の大きな要因の一つになっている。

紛争や人権侵害で避難民となった4000万人のうちの約半分が子どもである。

1000万人以上の15歳未満の子どもがエイズで母親または両親を失った。

アフリカのエイズ孤児

エイズで母親または両親を失った15歳未満児の比率
1999年末現在

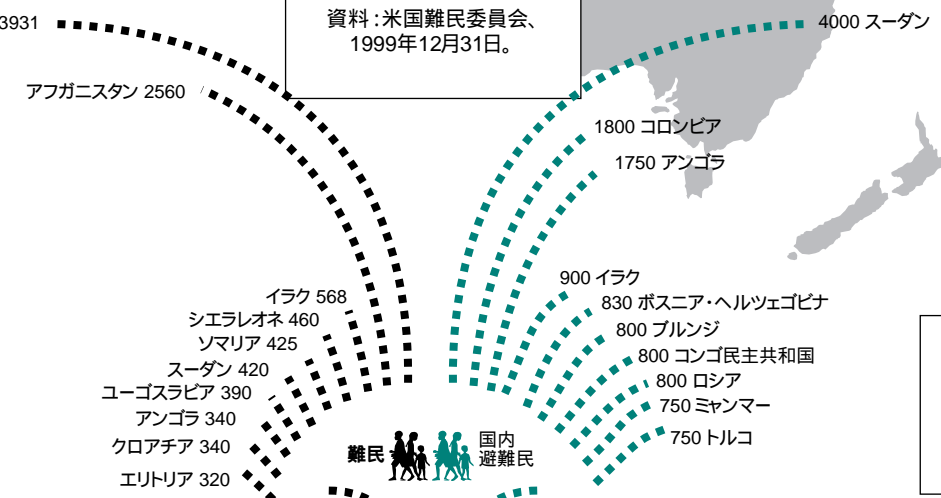


資料：UNAIDS、ユニセフ。

難民と国内避難民

(単位：1000人)
1999年

資料：米国難民委員会、
1999年12月31日。



難民と国内避難民

難民と国内避難民の約半分が子どもである。

この地図は国や領土、国境の法的地位についてのユニセフの立場を示すものではない。インドとパキスタンが同意したジャム・カシミールのおおよその統治ラインは点線で示した。両国はジャム・カシミールの最終的地位についてまだ合意していない。